

令和8年度 女性の職業選択に資する情報公表（女性活躍推進法第21条関係）（1）

特定事業主名：本庄市

令和8年7月31日公表

I 職員の男女の給与の額の差異

1. 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	86.3%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	101.9%
全職員	83.4%

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
本庁部局長・次長相当職	—
本庁課長相当職	90.7%
本庁課長補佐相当職	100.4%
本庁係長相当職	101.4%

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	87.2%
31～35年	93.8%
26～30年	96.5%
21～25年	94.1%
16～20年	90.1%
11～15年	88.0%
6～10年	93.0%
1～5年	87.3%

【説明欄】

- ・扶養手当について、受給者に占める男性の割合は85%となっている。また、住居手当については、令和7年度より持家に係る住居手当の支給が廃止されたことにより、男女の差異が小さくなった。（参考：令和6年度 79%）
- ・「任期の定めのない常勤職員以外の職員」とは、再任用職員及び会計年度任用職員（週当たりの勤務日数が定められていない職員及び任用期間が1年未満の職員を除く。）を指す。
- ・職員数は常勤職員が1年間フルタイムで勤務した場合を一人として人数換算している。
- ・相対的に給与水準が低い会計年度任用職員のうち、女性職員の占める割合が75%であることから、全職員で比較すると男女の給与の差異が大きくなる。
- ・2（1）「本庁部局長・次長相当職」欄について、該当する女性職員がいないため記載なし。

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。

Ⅱ 管理的地位にある職員に占める女性職員の割合

区分	令和8年度
管理的地位にある職員	20.6%

【説明欄】

管理職員数 63 人（うち女性管理職 13 人）

- ・男性管理職比率：14.8%
- ・女性管理職比率：4.9%

Ⅲ 各役職段階にある職員に占める女性職員の割合

区分	令和8年度
本庁部局長・次長相当職	13.3%
本庁課長相当職	22.9%
本庁課長補佐相当職	24.1%
本庁係長相当職	47.3%

【説明欄】

部長・次長級数 15 人（うち女性部長・次長級数 2 人）
課長級数 48 人（うち女性課長数 11 人）
課長補佐級数 79 人（うち女性課長補佐級数 19 人）
係長・主査級数 148 人（うち女性係長・主査級数 70 人）

Ⅳ 男女別の育児休業取得率及び男女別の育児休業の取得期間の分布状況

1. 男女別の育児休業取得率

(1) 常勤職員

区分	令和7年度
男性	85.7%
女性	100%

(2) 会計年度任用職員

区分	令和7年度
男性	100%
女性	100%

2. 男女別の育児休業の取得期間の分布状況

区分	常勤職員		会計年度任用職員	
	男性	女性	男性	女性
1 週間未満	%	%	%	%
1 週間以上 2 週間未満	%	%	%	%
2 週間以上 1 月以下	16.7%	%	%	%
1 月超 3 月以下	50.0%	%	100%	%
3 月超 6 月以下	16.7%	%	%	100%
6 月超 9 月以下	%	%	%	%
9 月超 12 月以下	16.7%	23.1%	%	%
12 月超 24 月以下	%	61.5%	%	%
24 月超	%	15.4%	—	—

【説明欄】

対象男性職員数（常勤職員） 7 人（うち取得者数 6 人）

対象女性職員数（常勤職員） 13 人（うち取得者数 13 人）

・妊娠を申し出た職員や配偶者の出産が近いことを申し出た職員に、育児休業の制度や経済的な支援について案内するための面談を実施した。

・育休等復帰支援面談の実施を徹底し、無理のない復帰後の働き方について事前確認を実施した。

V 職員の勤務時間の状況

管理的地位にある職員以外の職員一人当たりの一月当たりの正規の勤務時間を
超えて命じられて勤務した時間

区分	令和7年度
内部部局等	6.5 時間／月
内部部局等以外	2.5 時間／月

【説明欄】

令和7年度については、国勢調査や2つの国政選挙の実施等への対応により、時間外勤務が一時的に増加している傾向にある。